

## 福岡市空手道連盟

【設立年月日】1970（昭45）年11月

【加盟年月日】1973（昭48）年5月

【歴代会長】初代 船越栄一

二代 為末紀元

三代 中野重信

【歴代理事長】初代 倉光英雄

二代 板井角馬

三代 茂田長俊

### 【沿革】

空手道は、沖縄を発祥の地とする我が国固有の文化です。17世紀初頭薩摩藩の島津氏による征服のため、一切の武器を取り上げられた琉球（現在の沖縄）の人たちが、自己防衛のために編み出した徒手空拳の武技、武術が起源といわれていますが、明治中葉まで秘技として伝承されたため、古い文献や資料はほとんど無く、その発祥を正確に把握することは困難です。

空手道には形と組手があります。形には首里手と

那覇手の2大系

別がありますが、

いずれも先人が

実戦の中で編み

出した技の数々

をつなぎ合わせ

たもので、形を

練習することで

基本動作や基本

となる技を身に

つけることができます。このように形の一つの

動作には奥深い意味が含まれており、空手道では

「形に始まり形に終わる」といわれるほど形の練習

が重要視されています。

組手は、形の練習によって身につけた技を応用し

て試合を行うもので、互いに突きや蹴りを出して相



手を攻撃したり相手の技を防御したりすることによって、勝敗を競い合います。組手は相手との戦いではありますが、「空手に先手なし」といわれるように、人を傷つけるためのものではなく、あくまでも自分の心を鍛え身を守ることを目的としています。

空手道は、1922（大11）年に船越義珍によって東京に紹介され、発展の基礎が築られました。その後、空手道が普及する間に様々な流派が生まれました。今日では各流派の大会が盛んに開催され、日本のみならず広く海外にも普及しています。

福岡市空手道連盟は、日本の伝統文化の一つである

空手道を若い世代に伝える

ため、また空手道を通して

青少年の健全な育成を願

い、福岡市及びその近郊の

道場が流派を問わず心を一

つにして、1970（昭45）

年11月に発足しました。

1973（昭48）年5月には、

福岡市体育協会に加盟し、

翌年10月6日には第

1回福岡市空手道総合演武

大会を開催しました。



（西日本新聞社提供）

### 【現在の活動】

本連盟が主催する大会は年3回で、福岡市少年空手道大会（4月）、市民総合スポーツ大会での福岡市空手道総合演武大会（9月）、少年スポーツ交流空手道競技大会（10月の体育の日）です。

これらの大会で育った多くの選手が、世界空手道選手権大会、アジア空手道選手権大会、アジア大会・空手道競技、世界学生空手道選手権大会などで輝かしい戦績を残しています（【競技記録】を参照）。空手界を担うであろう次世代の中・高・大学生の活躍ぶりには目を見張る



ものがあります。

平成24年度からは、中学校保健体育の授業で、「武道」が必修になり、当連盟においても対応が求められています。当連盟では、現在の加盟69団体が団結し、組織をあげて中学校での武道必修化に全面的に協力していかなければならないと考えています。中学校の授業で空手道に親んでもらい、空手道への興味や関心を高めてもらうとともに、その中で、常に相手に敬意を払い、相手の人格を尊重し、礼を尽くす態度といった礼節を身につけてもらいたいと願っています。

当連盟は、空手道の健全な発展とその普及をはかり、伝統的技術と精神によって、市民の心身の練成に寄与する事業を展開することを目指しています。そのために、指導者の資質向上のための指導者養成、小・中・高校生のトップアスリートへの発展・育成の指導一貫体制の確立、潜在的に空手道を志す者を顕在化させるスポーツ教室の開催、国際交流の促進等の事業に積極的に取り組んでいます。さらに、事業内容の充実と新しい創造を求める試みとして、2010（平成22）年4月釜山広域市空手道連盟と国際交流協定書を交わしました。青少年の空手道交流を通して、両国の友好親善に努めるとともに、優れた国際感覚と広い視野を持ち、海外での試合にも動じない選手を育成したいと思っています。

福岡市空手道連盟は、永年にわたって培われた「和」「礼節」「信義」の伝統を守りつつ、空手道の魅力をさまざまな形で発信し、老若男女を問わず空手道が親しまれる環境づくりに取り組み、更に新しい飛躍に努力して参りたいと考えています。

## 【競技記録】

### 2010（平22）年

- 第16回アジア大会（空手道競技）  
女子個人組手61キロ級 優勝  
宮本 優（九州産業大学空手道部）
- 第38回全日本空手道選手権大会  
女子個人組手 準優勝  
宮本 優（九州産業大学空手道部）

- 第20回世界空手道選手権大会  
女子個人組手61kg5位 団体組手出場  
宮本 優（九州産業大学空手道部）
- 第54回全日本学生空手道選手権大会  
女子個人組手 優勝  
宮本 優（九州産業大学空手道部）
- 第18回全国中学生空手道選手権大会  
女子個人組手 優勝  
宮原 美穂（福岡市立西福岡中学校）  
（正剛会西福岡道場）
- 第65回国民体育大会  
男子個人形 5位  
中園 拓也（泰星高等学校）  
（正剛館福岡本部道場）

### 2009（平21）年

- 第37回全日本空手道選手権大会  
女子個人組手 優勝  
宮本 優（九州産業大学空手道部）
- 第53回全日本学生空手道選手権大会  
女子個人組手 準優勝  
宮本 優（九州産業大学空手道部）
- 第53回全日本大学空手道選手権大会  
女子団体組手 準優勝  
宮本 優（九州産業大学空手道部）
- 第16回全国中学生空手道選手権大会  
男子個人形5位  
宮原 泰成（福岡市立西福岡中学校）  
（正剛会西福岡道場）  
男子個人形5位  
中谷 陸（福岡市立原中学校）  
（正剛館福岡本部道場）

### 2008（平20）年

- 第6回FISU世界学生空手道選手権大会  
女子団体組手3位  
宮本 優（九州産業大学空手道部）
- ジュニアカデットアジア空手道選手権大会  
女子個人組手・女子団体組手優勝  
宮本 優（九州産業大学空手道部）